

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 松本歯科大学・総合歯科医学研究所・硬組織解析学 准教授  
小林 泰浩 先生

2. 演題 「骨代謝における Wnt 非古典経路の役割」

3. 日時 平成26年11月17日(月) 17時30分～19時30分

4. 場所 M&D タワー共用セミナー室 11 (M&D タワー6階)

5. 内容 Wnt シグナルは、多くのプレーヤーによって構成されている。哺乳類ではリガンドが 19 種類、Frizzled 受容体が 10 種類、さらに共受容体や阻害因子が多数同定されている。これらのプレーヤーが、組織に特有なシグナルネットワークを構成することで、形態形成やガンの発生など様々な生物学的事象を制御する。骨代謝も Wnt シグナルの制御を受ける事象の 1 つである。骨芽細胞における Wnt/ $\beta$ -catenin シグナルは、骨形成を誘導する一方、osteoprotegerin の発現を誘導し破骨細胞の分化を阻害する。これによって、骨吸収は抑制される。一方、 $\beta$ -catenin を介さないシグナルを活性化する Wnt5a は共受容体 Ror2 を介して破骨細胞分化の亢進や破骨細胞の骨吸収機能の発現に重要であることを、我々は明らかにしてきた。本セミナーでは、骨吸収を制御する Wnt シグナルについて、最新の知見を含めて紹介したい。

講師ご略歴：

平成6年3月 長崎大学大学院歯学研究科修了

平成6年4月 長崎大学歯学部附属病院助手(歯科矯正科)

平成14年4月 松本歯科大学総合歯科医学研究所助教授

平成16年6月 米国ハーバード大学医学部 Endocrine Unit ポスドク(クローネンバーグ教授)

平成17年6月 松本歯科大学総合歯科医学研究所硬組織解析学准教授

連絡先：硬組織薬理学分野 青木 和広 (内線5461)